

平成20年10月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年11月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,466億円余
2. 前年同月比	-8.4% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-7.6% (87.7%) : 非店頭-13.3% (12.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年9月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	985,275㎡ (前年同月比: 2.1%)
6. 総従業員数	19,006人 (前年同月比: -2.1%)
7. 3か月移動平均値	3-5月 -1.2%、4-6月 -3.6%、5-7月 -3.5%、 6-8月 -4.1%、7-9月 -3.0%、8-10月 -5.9%

[参考] 平成19年10月の売上高増減率は0.6%

【10月売上の特徴】

- (1) 売上減少の背景には最近の消費マインドの冷え込みに加えて、昨年都内各所で行われた大型リニューアルや大型セールsの反動要素も含まれている。
- (2) 株安による逆資産効果から、昨年まで堅調に推移してきた海外高級ブランドが、ここに来て急速に成長を鈍化させている。
- (3) 「おせち」と「クリスマスケーキ」の早期受注は昨年以上に好調に推移しているが、この要因には、最近の「家族で共に過ごす」ライフスタイルの変化が指摘されている。また、高額な老舗料亭のおせちは依然として人気が高く既に完売したものも多い。
- (4) 景気の影響を直接受けやすい紳士ビジネスウェアは、プロパー商材が不振な一方でセール催事は活況を見せている。
- (5) アイテム別のトレンドとしては、婦人ファッションの「ファー(毛皮)アイテム」や、マラソンブームを背景とした「ランニング用品」に注目が集まっている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比+0.3日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 6店、②変化なし: 8店、③減少した: 6店、④不明: 3店
- (3) 10月歳時記(秋物商戦、体育の日、旅行シーズ)の売上(同上)
①増加した: 1店、②変化なし: 6店、③減少した: 2店、④不明: 14店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 1店、②変化なし: 13店、③減少する: 5店、④不明: 4店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年10月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	146,674,327	100.0	-8.4 (-7.3)
紳士服・洋品	13,993,934	9.5	-10.6 (-10.5)
婦人服・洋品	36,675,781	25.0	-10.8 (-10.4)
子供服・洋品	2,856,975	1.9	-2.7 (-2.1)
その他衣料品	3,918,247	2.7	-13.3 (-13.3)
■ 衣 料 品	57,444,937	39.2	-10.6 (-10.3)
■ 身のまわり品	20,537,980	14.0	-11.4 (-10.2)
化粧品	7,354,078	5.0	1.9 (2.4)
美術・宝飾・貴金属	7,793,343	5.3	-20.0
その他雑貨	7,549,973	5.1	-13.7 (-11.5)
■ 雑 貨	22,697,394	15.5	-11.7 (-10.8)
家具	2,497,477	1.7	-14.6 (-14.0)
家電	640,833	0.4	-60.6
その他家庭用品	4,706,136	3.2	-13.0 (-12.1)
■ 家 庭 用 品	7,844,446	5.3	-21.3 (-20.6)
生 鮮 食 品	4,883,980	3.3	-2.3 (1.6)
菓 子	7,496,754	5.1	2.5 (3.9)
惣 菜	7,037,777	4.8	-5.7 (-4.8)
その他食料品	9,317,538	6.4	-0.1 (2.6)
■ 食 料 品	28,736,049	19.6	-1.3 (0.8)
食 堂 喫 茶	3,743,600	2.6	2.3 (8.8)
サ ー ビ ス	1,878,422	1.3	-1.1 (3.0)
そ の 他	3,791,499	2.6	69.2 (69.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。(■は主要5品目)

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	2,916,446 千円	-18.2
従 業 員 数	19,006 人	-2.1
店 舗 面 積	985,275 m ²	2.1

営 業 日 数	31.0 日	前年	30.7 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、全品目がマイナスとなった。菓子は22か月連続プラス、化粧品が2か月連続プラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-8.4	—	8か月連続マイナス
紳士服・洋品	-10.6	-1.0	7か月連続マイナス
婦人服・洋品	-10.8	-2.8	3か月連続マイナス
子供服・洋品	-2.7	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-13.3	-0.4	6か月連続マイナス
衣料品	-10.6	-4.3	3か月連続マイナス
身のまわり品	-11.4	-1.6	7か月連続マイナス
化粧品	1.9	0.1	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-20.0	-1.2	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-13.7	-0.7	5か月連続マイナス*
雑貨	-11.7	-1.9	6か月連続マイナス
家具	-14.6	-0.3	7か月連続マイナス
家電	-60.6	-0.6	10か月連続マイナス
その他家庭用品	-13.0	-0.4	5か月連続マイナス
家庭用品	-21.3	-1.3	5か月連続マイナス
生鮮食品	-2.3	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	2.5	0.1	22か月連続プラス*
惣菜	-5.7	-0.3	7か月連続マイナス*
その他食料品	-0.1	0.0	3か月ぶりマイナス*
食料品	-1.3	-0.2	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	2.3	0.0	3か月ぶりプラス
サービス	-1.1	0.0	3か月連続マイナス
その他	69.2	1.0	2か月連続プラス
商品券	-18.2	-0.4	8か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>